

2023年11月7日
江東区文化コミュニティ財団

江東区森下文化センター 田河水泡・のらくろ館
木のまち江東区プロジェクト

「未来につなぐ“飛脚のらくろ”」お披露目会

森下文化センターの新たな目玉として、親しみやすいのらくろが誕生！

江東区森下文化センター「田河水泡・のらくろ館」は、来年2024年11月11日に開館25周年を迎えます。その1年前を記念し、この度、新たな目玉としてのらくろ木彫像「未来につなぐ“飛脚のらくろ”」を制作しました。

お披露目会では、木彫像完成の除幕後、みなさんから募集したメッセージを木彫像のお腹に納めます。また、第2部として、制作者である江東区無形文化財保持者の木彫師・渡邊美憲(わたなべよしのり)さんに「木のはなし」(約20分)を講演していただきます。木とともに発展した町、江東区に住む職人さんならではのお話は、こどもから大人までお楽しみいただける内容となっております。

お披露目会にご参加いただいた方には、記念品(のらくろオリジナルグッズ)を差し上げます。

2024年田河水泡・のらくろ館開設25周年プレイベント

未来につなぐ 飛脚のらくろ お披露目会

森下文化センター 1階ロビーにて

開催日時
2023年 11/11 土曜日
開場 13:30 開演 14:00

お申し込み: 10/15(日) 9:00より電話にて受付 (先着50名)

第一部 記念講演会
木のはなし
制作者の渡邊美憲さんに「木のはなし」(20分)を講演していただきます。木とともに発展した町、江東区に住む職人さんならではのお話をお楽しみください。ご参加いただいた方には記念品を差し上げます。
講師: 渡邊美憲 (江東区無形文化財保持者・木彫師)

第二部 飛脚のらくろ除幕式
「田河水泡・のらくろ館」の新たな目玉スポットとして制作した木彫像「未来につなぐ“飛脚のらくろ”」完成の除幕式を行います。皆さんから募集したメッセージを木彫像のお腹に納めます。

のらくろとは??
戦前の御殿的キャラクター!昭和6(1931)年から雑誌「少年倶楽部」に連載された漫画ののらくろは、戦前の子どもたちに多大な人気を得た大ヒット作です。戦後も復刻版の発売により再ブームとなり、テレビアニメ化もされました。

完成イメージ
© 田河水泡 / 講談社

「飛脚」ってなあに??
飛脚とは、江戸時代に今の郵便や電話の役目をしていた「職屋」のことです。

お申込み・お問合せ
森下文化センター / 田河水泡・のらくろ館
〒135-0004 東京都江東区森下3-12-17 TEL:03-5600-8666 FAX:03-5600-8677
休館日 第1・3月曜日(ただし、祝日の場合は休館) <https://www.kcf.or.jp/morishita/>
主催 公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団

【日時】2023年11月11日(土)

【会場】江東区森下文化センター 1階展示ロビー

東京都江東区森下3-12-17 (地下鉄「森下」、「清澄白河」駅より徒歩8分)

TEL:03-5600-8666 FAX:03-5600-8677

【入場料】無料(事前予約・先着50名)

【主催】公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 江東区森下文化センター(田河水泡・のらくろ館)

<https://www.kcf.or.jp/morishita/>

この度貴社媒体でぜひ本事業をお取り扱い頂きたく情報をご案内させていただきました。

取材していただける場合は、ご一報いただけましたら幸いです。

【発信元】公益財団法人江東区文化コミュニティ財団

管理課広報担当：村田、伊藤 TEL.03-3644-8119

◆のらくろとは

戦前の国民的キャラクター！昭和6(1931)年から雑誌『少年倶楽部』に連載された漫画「のらくろ」は、戦前の子どもたちに絶大な人気を得た大ヒット作です。戦後も復刻版の発売により再ブームとなり、テレビアニメ化もされました。

◆未来につなぐ飛脚のらくろ

高さ110cmの檜造り。制作者の木彫師・渡邊美憲さんは、江東区無形文化財保持者で、迎賓館赤坂離宮や寺院の装飾等を手掛けてきました。また地元の高校でも講師として指導されています。

台座文字(題字)は書家の^{かなしきしんぼう}金敷駿房さん。森下文化センターで活動するグループの講師を務めているほか、日展をはじめ数々の賞を受賞し、NHK大河ドラマ等の書道指導も行っています。



木彫のらくろ制作中の渡邊美憲さん

メッセージ等にイラストを描いてくださったのは、^{やまねあおおに}山根青鬼さん。田河水泡氏に師事し、「のらくろ」の執筆権を継承した「のらくろトリオ」の一人です。読売国際漫画大賞・日本漫画家協会優秀賞を受賞、現在は日本漫画家協会理事を務めています。また森下文化センター講座でも、講師やイベントでの審査員執筆等をしていただいているゆかりある方です。

たくさんの方々の力を集結して、完成を迎えた“飛脚のらくろ”。11月11日(わんわんワンワン)の記念すべき日に、みんなのメッセージを未来にお届けします。

◆木のまち江東区プロジェクト

江東区には、材木商をはじめ、^{たてく さしもの もくちょうこく}「建具」「指物」「木彫刻」など、木に関わる職人さんたちが数多くいます。それは、江戸時代から材木を置く「木置き場・木場」があったからです。

森下文化センターでは、現代まで続く「木」と「人」との関わりと歴史に触れ、木に親しむプログラム「木のまち江東区プロジェクト」の一環として、この飛脚のらくろを制作しました。8月8日から20日まで、この飛脚のらくろのお腹に入れるメッセージ(※)を募集、80人近くのメッセージが集まりました。

※メッセージのテーマ:2023年に夢中になっていること、好きなこと/5年後のわたし(ぼく)へ/みんな
で未来予想 森下はこんなまちになっている??

こうして江東区森下文化センターの新たな目玉として誕生した、親しみやすいのらくろを、皆さんにかわいがっていただき、未永く江東区の子どもたちの未来を見守っていく存在に育てていただければ幸いです。

※本制作は寄附金を活用した事業です。制作にご尽力いただきました関係者の皆様に、心よりお礼を申し上げます。

【本件についての問い合わせ】

この度貴社媒体でぜひ本事業をお取り扱い頂きたく情報をご案内させていただきました。

取材していただける場合は、ご一報いただけましたら幸いです。

【発信元】公益財団法人江東区文化コミュニティ財団

管理課広報担当：村田、伊藤 TEL.03-3644-8119

文コミ財団メモ

江東区森下文化センター 担当:大塚、柴 [TEL:03-5600-8666](tel:03-5600-8666)

この度貴社媒体でぜひ本事業をお取り扱い頂きたく情報をご案内させていただきました。

取材していただける場合は、ご一報いただけましたら幸いです。

【発信元】公益財団法人江東区文化コミュニティ財団

管理課広報担当：村田、伊藤 TEL.03-3644-8119